

市民交流プラザ事業部



©Keigo Sadahisa (doppietta)

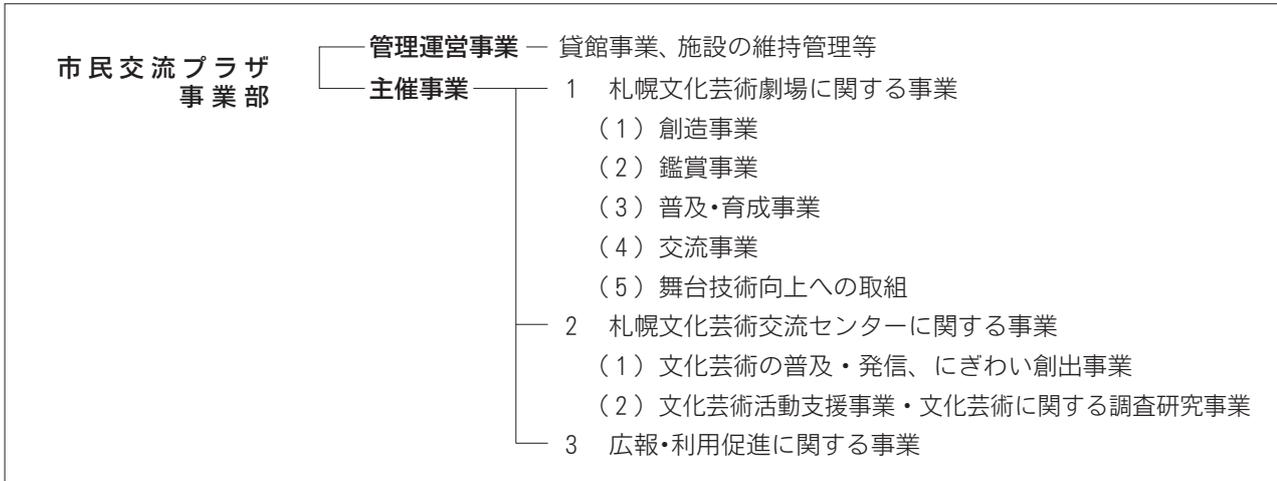
Creative Art Mix ～RE: BORN～

市民交流プラザ事業部

事業体系

定款第4条第1～2号に掲げる事業は、次により行った。

事業体系



管理運営事業

○札幌市民交流プラザ利用状況

			令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績
札幌文化芸術劇場	劇場	利用率	58.4%	79.9%	87.7%
		利用料金収入	57,151,830円	160,237,470円	181,079,760円
	クリエイティブ スタジオ	利用率	53.5%	71.2%	86.0%
		利用料金収入	9,232,020円	17,740,240円	19,927,890円
	練習室等	利用率	51.8%	59.7%	73.5%
		利用料金収入	5,602,250円	7,801,350円	11,133,750円
札幌文化芸術交流センター (SCARTSコート、SCARTSスタジオ、SCARTSモール等)		利用率	65.4%	63.3%	76.9%
		利用料金収入	6,822,530円	7,810,550円	16,201,800円
利用料金収入合計			78,808,630円	193,589,610円	228,343,200円
総入場者数			148,656人	285,686人	481,099人
総来館者数 (札幌市図書・情報館含む)			630,647人	752,003人	1,196,687人

※札幌市による新型コロナウイルス感染症対策の一環により、令和2年4月14日～5月31日は全館貸出休止、令和3年5月9日～7月11日、8月2日～9月30日は新規予約受付停止。

※利用料金収入には、利用取消手数料収入を含まない。

【参考】

令和3年度全国公立文化施設平均稼働率

大ホール (1,000席以上) : 47.5% 小ホール (500席未満) : 52.3%

(出典 公益社団法人全国公立文化施設協会「令和4年度 公立文化施設の運営情報調査報告書」)

主 催 事 業

札幌文化芸術劇場に関する事業

1 創造事業

道内初の多面舞台を備えたホールの機能を活用し、国内の劇場や地元芸術団体との共同制作など「創造の場」として、札幌発のオペラやバレエ等の舞台芸術を展開し、市民が質の高い文化芸術に触れる機会を提供した。

①hitaru オペラプロジェクト

モーツァルト「フィガロの結婚」 **新規**

地元のオペラ団体、教育機関、実演芸術家などの協力を得て hitaru を舞台としたオペラを創造・発信する hitaru オペラプロジェクトの第1回として、モーツァルト作曲「フィガロの結婚」を上演した。



撮影：kenzo kosuge

期 日：令和5年2月26日（日）、28日（火）

開演各日14:00

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

協 力：一般社団法人 北海道二期会、NPO法人 札幌室内歌劇場、LC アルモーニカ、札幌オペラシンガーズ、札幌大谷大学、北海道教育大学

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

演 出：三浦安浩

出 演：奥村哲也（指揮）

岡元敦司／門間信樹（アルマヴィーヴァ伯爵）

倉岡陽都美／石岡幸恵（伯爵夫人）

三浦由美子／倉本絵里（スザンナ）

大塚博章／三輪主恭（フィガロ）

川島沙耶／吉田叶倫（ケルビーノ）

小平明子（マルチェリーナ）

葛西智一（バルトロ）

岡崎正治／川村春貴（バジーリオ）

長倉駿（ドン・クルツィオ）

西海綾香／矢野愛実（バルバリーナ）

小野寺陸（アントーニオ）

水上千聖、小林愛果／中陳寿枝、尾崎あかり（花娘）

hitaru オペラプロジェクト「フィガロの結婚」合唱団

札幌交響楽団（管弦楽）

松岡亜弥子、鎌倉亮太（チェンバロ）

助 演：菊地一実、砂田蘭々、丹治碧海、緑川涼音、平史樹、小野誠、榎谷まい子

入場料：全席指定 S席 14,000円、A席 11,000円、B席 8,000円、C席 6,000円、D席 5,000円
U25 各席2,000円引き（S席を除く）

入場者数：2月26日 1,731人

2月28日 1,087人

<関連事業>

hitaru オペラプロジェクト

モーツァルト「フィガロの結婚」

合唱オーディション **新規**

令和5年2月26日（日）、28日（火）開催、hitaru オペラプロジェクト モーツァルト「フィガロの結婚」の合唱出演者の起用にかかり、北海道にゆかりのある方を対象にオーディションを実施した。

期 日：令和4年4月16日（土）開始14:00

会 場：クリエイティブスタジオ

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

募集人員：ソプラノ、アルト、テノール、バス

審査員：奥村哲也（指揮者）、三浦安浩（演出家）、高橋秀典（札幌文化芸術劇場 hitaru チーフプロデューサー）

参加料：無料

応募者数：55人

参加人数：51人

<関連事業>

「フィガロの結婚」カヴァーキャストによる
スペシャルコンサート～アンコウ先生のお話とともに～ **新規**

令和5年2月に開催の hitaru オペラプロジェクト「フィガロの結婚」にカヴァーキャストとして参加した歌手による、一夜限りのスペシャルコンサートを開催した。

市民交流プラザ事業部

主催事業



撮影：kenzo kosuge

期 日：令和4年12月23日（金）開演19:00
会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru
主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）
後 援：札幌市、札幌市教育委員会
お話・演出：三浦安浩
出 演：大野浩司（アルマヴィーヴァ伯爵）
五十嵐麻実（伯爵夫人）
成田恵（スザンナ）
栗野伶惟（フィガロ）
森千尋（ケルビーノ）
川村春貴（バジーリオ、ドン・クルツィオ）
土谷香織（マルチェッリーナ）
葛西智一（アントーニオ、バルトロ）
前田奈央子（バルバリーナ）
江川佳郎（指揮）
鎌倉亮太（ピアノ）
松岡亜弥子（チェンバロ）
曲 目：第1幕 アリア「もう飛ぶまいぞ、この蝶々」（フィガロ）
第2幕 アリエッタ「恋とはどんなものかしら」（ケルビーノ）
第3幕 二重唱「憎いぞ！なぜこれまで私をこのように焦らしおった？」（伯爵、スザンナ）
第3幕 レチタティーヴォ「行きましょう、ねえ、素敵なお小姓さん」（バルバリーナ、ケルビーノ）
第3幕 アリア「今はどこなのでしょう、あの美しい時は」（伯爵夫人）
第3幕 六重唱「この抱擁でわかっておくれ」（ドン・クルツィオ、フィガロ、伯爵、バルトロ、マルチェッリーナ、スザンナ）
第3幕 小二重唱「そよ風によせる…」（伯爵夫人、スザンナ）

第4幕 カヴァティーナ「失くしてしまって…あたし困ったわ！」（バルバリーナ）

第4幕 レチタティーヴォ「バルバリーナ、どうしたんだ？」（バルバリーナ、フィガロ、マルチェッリーナ）

第4幕 アリア「牡の山羊と牝の山羊は」（マルチェッリーナ）

第4幕 アリア「あの年ごろ、まだあまりよく」（バジーリオ）

第4幕 フィナーレ「そっと、もっと近くへ行ってみよう」（ケルビーノ、伯爵夫人、スザンナ、フィガロ、伯爵、バルトロ、バジーリオ、アントーニオ、バルバリーナ、マルチェッリーナ）

入場料：全席指定 一般 1,000円、U25 500円

入場者数：825人

②Creative Art Mix ～RE:BORN～ 新規

クラシックの名作を様々なアレンジにより演奏し、現代的センスのダンス、映像と合わせ新感覚なパフォーマンスアート公演を開催。出演者からスタッフまで、全メンバー札幌在住の人材を起用した新規創造事業として1年間の制作期間により創り上げた舞台芸術作品を上演した。



撮影：Keigo Sadahisa (doppietta)

期 日：令和5年3月11日（土）①開演15:00

②開演19:00

12日（日）③開演15:00

会 場：クリエイティブスタジオ

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

助 成：一般財団法人地域創造

出 演：小野健悟（作曲・編曲, Sax, Ewi）

DJ TAMA a.k.a. SPC FINEST（編曲・DJ）

鈴木明倫（コンテンポラリーダンス）

郷翠（クラシックバレエ）
 髪立ツカサ（舞踏）
 西野留以（ストリートダンス）
 井川真裕美
 TAKAYA
 仙庭弘晶（ストリートダンス）
 YUKA（ストリートダンス）
 林佳一郎（Pf, Key）
 吉澤早紀（Pf, Key）
 町田拓哉（Gt）
 長谷川加奈（Vn）
 青木務（Bs）
 酒井颯太（Drs）
 ほか

演 目：第一部

グノー「アヴェ・マリア」〈R&B/SOUL〉×
 〈舞踏〉
 ホルスト 組曲「惑星」より「木星」
 〈LATIN〉×〈コンテンポラリーダンス・
 バレエ〉
 ラヴェル「亡き王女のためのパヴァーヌ」
 〈R&B/JAZZ〉×〈ストリートダンス〉
 ベートーヴェン 交響曲 第5番「運命」
 〈ELECTRONIC〉×〈舞踏〉
 ショパン「革命のエチュード」
 〈ELECTRONIC〉×〈バレエ〉
 ハチャトゥリアン「剣の舞」
 〈ROCK〉×〈コンテンポラリーダンス〉
 ヴェルディ「レクイエム」
 〈HIPHOP〉×〈ストリートダンス〉

第二部

「SWAN LAKE BEYOND」

入場料：全席自由 一般 2,500円、U25 1,000円

入場者数：①156人 ②156人 ③160人

<関連事業>

**Creative Art Mix ～RE:BORN～
 ダンスワークショップ**

新規

本プロジェクトの出演ダンサーを講師に迎え、バレエ、コンテンポラリー、舞踏、ヒップホップ、ジャズと幅広いジャンルのダンスを初心者や子どもでも気軽に体験できるワークショップを開催した。



期 日：令和4年

8月21日（日）～ 24日（水）、28日（日）

8月21日（日）①バレエ 開始14:00

8月22日（月）②ヒップホップ 開始18:00

8月23日（火）③舞踏 開始19:00

8月24日（水）④コンテンポラリー

開始19:00

8月28日（日）⑤ヒップホップ／ジャズ

開始18:00

会 場：①、⑤控室401（札幌市民交流プラザ4階）

②～④クリエイティブスタジオ

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

助 成：一般財団法人地域創造

講 師：①郷翠 ②西野留以 ③髪立ツカサ

④鈴木明倫 ⑤仙庭弘晶、YUKA

参加料：500円

参加者数：①14人 ②17人 ③9人 ④11人 ⑤14人

市民交流プラザ事業部

主催事業

③hitaru バレエプロジェクト

「くるみ割り人形」オーディション **新規**

令和5年12月9日(土)、10日(日)開催、hitaru バレエプロジェクト「くるみ割り人形」の出演者オーディションを、北海道在住もしくは北海道にゆかりのある方を対象に実施した。

期 日：令和5年3月18日(土)

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru (札幌市芸術文化財団)

キャスト：こんぺい糖の精、王子、ドロッセルマイヤー、くるみ割り人形、ネズミの王様、パパ、ママ、祖父、祖母、客人、召使、ハレーキン、コロンビーヌ、パンタローネ、ネズミ、兵隊、雪(ソリスト・アンサンブル)、スペイン、アラビア、中国、ロシア、フランス、花のワルツ(ソリスト・アンサンブル)、クララ、フリッツ、子どもたち など

審査員：千田雅子(札幌舞踊会代表)、真下教子(日本バレエ協会北海道支部支部長)、榎谷博子(We Love Ballet 実行委員会芸術監督)、斎藤義晶(札幌市民交流プラザ館長)

参加料：無料

応募者数：219人

参加者数：200人

2 鑑賞事業

劇場の多面舞台と最新の舞台機能を活かし、国内外トップクラスのオペラ、バレエなど本格的舞台芸術による「鑑賞の場」を多彩な内容で広く市民に提供した。

①山海塾「降りくるもののなかでーとばり」

新規

※出演者の体調不良のため中止



期 日：令和4年9月24日(土)開演14:00

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru (札幌市芸術文化財団)

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

演出・振付・デザイン：天児牛大

音 楽：加古隆、YAS-KAZ、吉川洋一郎

舞踏手：蟬丸、竹内晶、市原昭仁、松岡大、石井則仁、岩本大紀、高瀬誠

アンダースタディー：伊藤壮太郎

入場料：全席指定

一般 4,500円、一般見切れ席 4,000円

U25 3,000円、U25見切れ席 2,500円

入場者数：-

<関連事業>

山海塾「降りくるもののなかでーとばり」

関連事業

山海塾 舞踏手 蟬丸によるワークショップ

新規

※講師の体調不良のため中止

期 日：令和4年9月22日（木）開始14:30

会 場：クリエイティブスタジオ

講 師：蟬丸

参加料：3,000円

参加者数：－

②北海道新聞創刊80周年・UHB北海道文化放送開局50周年

Daiwa House® PRESENTS

Autumn Tour 2022 Kバレエカンパニー

「クレオパトラ」

新規

名だたる古典バレエを自身のプロダクションとして生まれ変わらせてきた熊川哲也による、完全オリジナルのグランド・バレエ「クレオパトラ」を上演した。



撮影：Ayumu Gombi

期 日：令和4年11月7日（月）開演18:30

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

主 催：北海道新聞社、道新スポーツ、エフエム北海道、UHB北海道文化放送、道新文化事業社、キョードー札幌

共 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

制 作：K-BALLET/TBS

特別協賛：大和ハウス工業株式会社

協 賛：株式会社SL Creations

演出・振付・台本：熊川哲也（芸術監督）

出 演：井田勝大（指揮）

日高世菜（クレオパトラ）

吉田周平（プトレマイオス）

N・ヴィユウジャーニン（ポンペイウス）

石橋契也（ブルータス）

堀内将平（アントニウス）

山本雅也（オクタヴィアヌス）

小林美奈（オクタヴィア）

熊川哲也（ジュリアス・シーザー）

他 Kバレエカンパニー

シアター オーケストラ トーキョー（管弦楽）

入場料：全席指定 S席 17,500円、A席 15,000円、

B席 11,000円、C席 9,000円、

パーシャル・ビューS席 16,500円、

パーシャル・ビューA席 14,000円、

パーシャル・ビューB席 10,000円

入場者数：2,071人

③hitaruのひととき

市内中心部の地下鉄駅直結という劇場の優れた立地条件を活用し、料金設定をおさえ、親しみやすい選曲により、気軽に実演芸術に触れてもらう機会を提供した。

（1）魅惑のミュージカルナイト

～姿月あさと

35th Anniversary Festival～

新規

元宝塚歌劇団宙組初代トップスターの姿月あさとらを迎え、歌とダンスで楽しむコンサートを開催した。人気の高いミュージカル作品の楽曲を中心に、ジャズやラテンも交えた華やかなステージを上演した。



撮影：n-foto 原田直樹

期 日：令和4年5月18日（水）開演19:00

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

助 成：ARTS for the future! 2

出 演：姿月あさと

市民交流プラザ事業部

主催事業

風花舞（ゲスト）

天羽珠紀、春風弥里（歌・ダンス）

宮崎誠（音楽監督・演奏）

曲 目：第一部

On Broadway

（ミュージカル映画「All That Jazz」より）

ショウほど素敵な商売はない

（ミュージカル「アニーよ銃をとれ」より）

Shall We Dance?

（ミュージカル「王様と私」より）

Finale

（ミュージカル「Me and My Girl」より）

あごで受け止めて

（ミュージカル「Me and My Girl」より）

太陽が帽子をかぶっている

（ミュージカル「Me and My Girl」より）

Overture

（ミュージカル「WEST SIDE STORY」より）

Tonight

（ミュージカル「WEST SIDE STORY」より）

America

（ミュージカル「WEST SIDE STORY」より）

This is the Moment

（ミュージカル「Jekyll and Hyde」より）

第二部

Night and Day

La Carioca

Passion Flower

La vie en Rose

ひとかけらの勇氣（ミュージカル「スカーレット・ピンパーネル」より）

エメ（ミュージカル「ロミオとジュリエット」より）

愛と死の輪舞（ミュージカル「エリザベート」より）

闇が広がる（ミュージカル「エリザベート」より）

Yo Soy Maria

入場料：全席指定 一般 3,000円、U25 1,500円

入場者数：903人

（2）尾高忠明 presents

偉大なる英国の巨匠たち

新規

hitaruの元芸術アドバイザーである尾高忠明の選曲・指揮により、札幌交響楽団が演奏を行うコンサートを開催した。名曲の数々を語りを変えながら演奏し、英国音楽の魅力あふれる内容となった。



撮影：RYOICHI KAWAJIRI

期 日：令和4年6月18日（土）開演14:00

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

助 成：ARTS for the future！2

出 演：尾高忠明（指揮）
札幌交響楽団（管弦楽）

曲 目：ウォルトン

戴冠行進曲「王冠」

ヴォーン・ウィリアムズ

「グリーンズリーヴス」による幻想曲

エルガー

弦楽セレナード ホ短調 Op.20

ブリテン

歌劇「ピーター・グライムズ」より

4つの海の間奏曲 Op.33a

ヴォーン・ウィリアムズ

トマス・タリスの主題による幻想曲

ディーリアス

歌劇「村のロメオとジュリエット」より

楽園への道

エルガー

行進曲「威風堂々」Op.39より

第4番、第1番

入場料：全席指定 一般 3,000円、U25 1,500円

入場者数：1,020人

(3) hitaru オペラプロジェクト
モーツァルト「フィガロの結婚」
関連事業 声優朗読劇 VORLESEN
～フィガロの結婚～ **新規**

令和5年2月に hitaru オペラプロジェクトで上演するモーツァルトのオペラ「フィガロの結婚」を題材にしたオリジナル脚本をチェンバロの生演奏とともに朗読し、終了後には声優たちによるトークコーナーを実施した。



期 日：令和4年11月20日（日）
マチネ 開演14:00
ソワレ 開演17:00
会 場：クリエイティブスタジオ
主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）
後 援：札幌市、札幌市教育委員会
助 成：ARTS for the future!2
企画制作：ティーエーエヌジー
脚 本：中野順哉
出 演：井上和彦、柚木涼香、木島隆一、山口智広
楠未帆（チェンバロ）
入場料：全席指定 一般 4,000円、U25 1,500円
入場者数：マチネ 194人 ソワレ 189人

④文化庁 大規模かつ質の高い文化芸術活動を核としたアートキャラバン事業 2022
東京バレエ団<HOPE JAPAN 2022> **新規**

バレエを通じて勇気と希望のエールを各地に届けることを目標とする、東京バレエ団全国ツアーの札幌公演を共催により開催した。振付家モーリス・ベジャールの2大人気演目に加え、クラシックバレエの粋を味わえる演目を上演した。



撮影：Shoko Matsuhashi

期 日：令和4年7月28日（木）開演18:30
会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru
主 催：一般社団法人日本バレエ団連盟、公益財団法人日本舞台芸術振興会、北海道新聞社、道新スポーツ、エフエム北海道、道新文化事業社
共 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）
特別協力：テレビ北海道
出 演：東京バレエ団
プログラム：「ボレロ」、「ギリシャの踊り」、「パキータ」
入場料：全席指定 S席 10,000円、A席 8,000円、B席 6,000円、C席 4,000円、
学生（6歳～高校3年）は各席種半額
入場者数：1,757人

市民交流プラザ事業部

主催事業

⑤ スターダンサーズ・バレエ団公演 バレエ「ドラゴンクエスト」

新規

国民の人気ゲームを題材に、臨場感あふれる戦闘シーンからラストまで目が離せないオリジナルバレエ作品を上演した。



期 日：令和4年10月22日（土）開演14:00

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

主 催：一般社団法人日本バレエ団連盟、公益財団法人スターダンサーズ・バレエ団

共 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

後 援：北海道、札幌市、札幌市教育委員会

協 力：スギヤマ工房、株式会社スクウェア・エニックス

出 演：スターダンサーズ・バレエ団
東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団（管弦楽）

入場料：全席指定 SS席10,000円（子ども7,000円）、
S席9,000円（子ども6,000円）、
A席6,000円（子ども4,000円）、
B席3,000円（子ども2,000円）、
C席1,000円、学生券2,500円

入場者数：1,174人

⑥ 共催事業の誘致

（1）第三回さっぽろ落語まつり

落語家・三遊亭円楽がプロデュースし福岡・博多で成功を収めている札幌版落語まつりの3回目。総勢19名の落語家が出演し、札幌文化芸術劇場 hitaru、共済ホールの2会場で3日間、計9公演開催。

期 日：令和4年5月27日（金）～29日（日）

5月27日（金）①開演13:00 ②開演17:30

28日（土）③開演11:00 ④開演15:30

29日（日）⑤開演11:00 ⑥開演15:30

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru、共済ホール

主 催：株式会社テレビ北海道、株式会社北海道新聞社、道新スポーツ、株式会社道新文化事業社

共 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

特別協賛：生活協同組合コープさっぽろ共済推進室

協 力：オフィスまめかな

入場料：全席指定 前売4,600円 当日5,000円

入場者数：①1,300人 ②515人 ③775人 ④620人

⑤723人 ⑥752人

（2）舞台「千と千尋の神隠し」

新規

宮崎駿原作のアニメーション映画「千と千尋の神隠し」を世界で初めて舞台化。ジョン・ケアードが翻案と演出を手掛けた。千尋役に橋本環奈・上白石萌音（Wキャスト）を迎え、全7日間、計10公演上演した。

期 日：令和4年6月6日（月）～12日（日）

6月6日（月）①開演18:00

7日（火）②開演13:00、③開演18:00

8日（水）④開演18:00

9日（木）⑤開演13:00、⑥開演18:00

10日（金）⑦開演13:00

11日（土）⑧開演12:00、⑨開演17:00

12日（日）⑩開演12:00

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

主 催：株式会社北海道新聞社、道新スポーツ、エフエム北海道、株式会社道新文化事業社

共 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

入場料：全席指定

S席14,500円 A席11,000円 B席6,000円

入場者数：①2,117人 ②2,131人 ③2,125人 ④2,102人

⑤2,101人 ⑥2,105人 ⑦2,116人 ⑧2,101人

⑨2,117人 ⑩2,113人

(3) ミュージカル「ミス・サイゴン」 新規

平成4年の日本初演以来、1500回以上の上演を重ねる大ヒットミュージカルの北海道初演。エンジニア役にミュージカル界の大御所・市村正親（ほか3名と交互出演）、キム役に昆夏美・屋比久知奈（交互出演）を迎え、全4日間、計6公演上演した。

期 日：令和4年10月7日（金）～10日（月・祝）

10月7日（金）①開演18:00

8日（土）②開演13:00、③開演18:00

9日（日）④開演13:00、⑤開演18:00

10日（月・祝）⑥開演13:00

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

主 催：株式会社北海道新聞社、北海道文化放送株式会社、道新スポーツ、エフエム北海道、株式会社道新文化事業社

共 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

入場料：全席指定

S席14,500円 A席11,000円 B席6,000円

入場者数：①2,000人 ②1,982人 ③1,969人 ④1,986人

⑤2,010人 ⑥2,007人

(4) NORAH JONES JAPAN TOUR 2022 新規

デビュー20周年を迎えた歌手、ノラ・ジョーンズの5年振りとなる来日公演を開催した。

期 日：令和4年10月11日（火）開演19:30

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

主 催：株式会社北海道新聞社、道新スポーツ、株式会社エフエム北海道、株式会社道新文化事業社

特別協力：株式会社テレビ北海道

共 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

入場料：全席指定 S席10,000円 A席9,000円

入場者数：2,142人

(5) 2022 HTB ジルベスターコンサート 新規

1997年にスタートした歴史あるコンサートの第25回公演。メインゲストにアコースティックギタリストの押尾コータロー、ゲストに札幌出身のシンガーソングライターRihwaとヴァイオリニスト堀内優里を迎え、札幌交響楽団の演奏で開催した。

期 日：令和4年12月31日（土）開演15:00

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

主 催：北海道テレビ放送株式会社

共 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

特別協力：札幌芸術の森（札幌市芸術文化財団）、札幌交響楽団

特別協賛：株式会社アミノアップ

協 賛：北海道ポラコン株式会社、日本たばこ産業株式会社、株式会社オカムラ

制作協力：有限会社ミュージック・ギャラリー

後 援：北海道、札幌市、札幌市教育委員会、北海道日刊スポーツ新聞社

協 力：日本航空株式会社

入場料：全席指定

プラチナ席 10,000円 SS席7,000円

S席6,000円 A席5,000円 B席4,000円

中学生以下（A席、B席）500円

入場者数：1,405人

市民交流プラザ事業部

主催事業

3 普及・育成事業

先進の舞台芸術を広く市民に紹介するとともに、舞台芸術活動の将来を担う世代の育成を目的に、多彩な芸術文化作品の提供と、魅力的で芸術性の高い参加型事業を展開した。

① 青少年向けバレエ鑑賞事業

芸術を通して豊かな感性を育む機会の提供を目的とし、札幌市内の中学校2年生約2,000名を対象に青少年向けバレエ鑑賞事業を開催した。



撮影：Yui Iida

期 日：令和4年7月1日（金）開演14:00
会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru
主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）
後 援：札幌市、札幌市教育委員会
特別協賛：株式会社ニトリ
出 演：東京バレエ団
プログラム：「ドン・キホーテ」より抜粋
「ボレロ」
入場料：無料
入場者数：1,929人（札幌市内中学校17校 他）

< 配信事業 > 青少年向けバレエ鑑賞事業

札幌市内の中学2年生を対象に、hitaru で過去に開催した事業のアーカイブ映像と作品内容の解説、劇



場の紹介等を含む映像教材をYouTubeにて配信した。応募のあったそれぞれの中学校にて鑑賞いただき、総合芸術としてのバレエを楽しむ機会を創出した。

期 日：令和4年10月3日（月）～11月11日（金）

会 場：各中学校

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

特別協賛：株式会社ニトリ

出 演：東京バレエ団

プログラム：「白鳥の湖」プロローグ付き第2幕
「ボレロ」

参加料：無料

視聴人数：511人（札幌市内中学校7校）

② クリエイティブスタジオ活用事業

市内文化芸術団体等との連携により、音楽・舞踊・演劇・伝統芸能など多様なジャンルの実演芸術の創造と鑑賞の機会を市民へ提供し、文化芸術活動の活性化を促進した。

(1) クリエイティブスタジオ

シネマシリーズ4 映画へと導く映画

映画監督 大九明子が影響を受けた映画「タレントタイム～優しい歌」「少女は自転車にのって」の上映と、特別講演として上映作品の解説や自身の作品にもたらした影響などを語った。



期 日：令和4年4月23日（土）

① 上映1 「タレントタイム～優しい歌」

開始12:00

② 上映2 「少女は自転車にのって」

開始14:35

③ 大九明子監督 特別講演 開始17:00

会 場：クリエイティブスタジオ

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

助 成：ARTS for the future！2
 企画制作：小野朋子
 出 演：大九明子（映画監督）
 入場料：全席指定 前売 2,500円、当日 3,000円
 入場者数：125人

（2）村川拓也「ムーンライト」 **新規**

ドキュメンタリーやフィールドワークの手法で作品を発表し続ける村川拓也による、過ぎ去った時間を現在に立ち上がらせる名作を、主人公「不在」で異例の上演。見えない人やモノの存在を観客と共に想起する「演劇」を試みた。



撮影：Kenzo Kosuge

期 日：令和4年5月28日（土）、29日（日）
 開演各日15:00
 会 場：クリエイティブスタジオ
 主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）
 後 援：札幌市、札幌市教育委員会
 助 成：ARTS for the future！2
 構成・演出：村川拓也
 ドラマトゥルク：林立騎
 声の出演：中島昭夫
 出 演：大関ここみ、秋元恵理子、
 荒俣麗菜、伊東沙希子
 入場料：全席指定 一般 3,000円、一般早割 2,500円
 U25 1,000円
 入場者数：5月28日 115人
 5月29日 121人

<関連事業>

中高生のための「ムーンライト」レクチャー **新規**

5月28日（土）、29日（日）開催、村川拓也「ムーンライト」公演の関連事業。本作ドラマトゥルクの林立騎が作品の魅力などをレクチャーした。



期 日：令和4年5月28日（土）、29日（日）
 開始各日13:45
 会 場：SCARTSコート
 主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）
 助 成：ARTS for the future！2
 講 師：林立騎（「ムーンライト」ドラマトゥルク）
 入場料：全席自由 無料
 入場者数：5月28日 32人
 5月29日 25人

（3）第1回 hitaru 劇評入門
 ～舞台公演を言葉に残す～
 村川拓也「ムーンライト」 **新規**

演劇・映画・文芸など様々な分野で批評活動を行う佐々木敦を講師に迎え、5月28日（土）、29日（日）に開催の演劇作品「ムーンライト」の演出家 村川拓也の作品の魅力を探るとともに、劇評の執筆を通して鑑賞体験をより深める方法をレクチャーした。



期 日：令和4年5月30日（月）開始18:30
 会 場：クリエイティブスタジオ
 主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）
 後 援：札幌市、札幌市教育委員会
 助 成：ARTS for the future！2
 講 師：佐々木敦
 入場料：全席自由 受講 一般 2,000円、U25 1,000円

市民交流プラザ事業部

主催事業

聴講 一般 1,500円、U25 500円

入場者数：受講 16人、聴講 34人

(4) 第2回 hitaru 劇評入門 ～舞台公演を言葉に残す～ 山海塾「降りくるもののなかでーとばり」

新規

※山海塾公演中止に伴い中止



撮影：岡本尚文

主 催：公益財団法人北海道文化財団、札幌文化芸術
劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

後 援：北海道

企画・制作：合同会社わをん企画

制作協力：ダブルス

協 力：有限会社 quinada、tatt Inc.、ラボチ

作・演出：加藤拓也

出 演：藤原季節、平原テツ、秋元龍太郎、金子岳憲、
今井隆文、中山求一郎、安川まり、秋乃ゆに、
山脇辰哉

入場料：全席指定 一般 前売 3,500円、当日 4,000円
U25 前売 2,000円、当日 2,500円

入場者数：①178人 ②176人 ③176人

期 日：受講 令和4年9月25日（日）開始17:00

聴講 令和4年10月10日（月・祝）

～11月13日（日）

会 場：オンライン

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化
財団）

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

講 師：岩城京子

参加料：受講（山海塾「降りくるもののなかでーとばり」公演セット券）

一般 6,000円、U25 3,500円

聴講 一般 1,000円、U25 500円

参加者数：－

(5) 劇団た組「ドードーが落下する」 **新規**

今演劇界で最も注目される気鋭の作家・加藤拓也率
いる劇団た組。初の北海道公演は、札幌出身の藤原季
節主演による書き下ろし新作を上演した。

期 日：令和4年10月22日（土）①開演14:00

②開演18:00

23日（日）③開演14:00

会 場：クリエイティブスタジオ

③大学連携事業

札幌市内の大学と連携し、大学の教授、音楽家、ピ
アニストなどがオペラ、バレエ、ミュージカルなどの
見どころ・聴きどころをより分かりやすく解説すると
ともに、本番の公演をお客様により楽しんでもらう企
画として、市民が気軽に参加できる機会を提供した。

<連携事業>

札幌大谷大学・札幌文化芸術劇場 hitaru 連携事業 アートプログラム2022 第1回 ミュージカル「ミス・サイゴン」

見どころ・聴きどころ

札幌大谷大学と札幌文化芸術劇場 hitaru が連携し、
音楽や舞台芸術の魅力をお届けする事業の令和4年度
第1回を開催した。

今回は令和4年10月開催のミュージカル「ミス・サ
イゴン」をテーマに、作品の政治的背景や、モデルと
なったオペラ「蝶々夫人」との関係など、多面的な魅
力を解説した。

期 日：令和4年9月16日（金）開始19:00

会 場：クリエイティブスタジオ



主 催：札幌大谷大学
 共 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）
 出 演：千葉潤（札幌大谷大学学長・教授）
 入場料：全席指定 1,000円
 入場者数：103人

<連携事業>

札幌大谷大学・札幌文化芸術劇場 hitaru
 連携事業 アートプログラム2022 第2回
 オペラ「フィガロの結婚」
 見どころ・聴きどころ

札幌大谷大学と札幌文化芸術劇場 hitaruが連携し、音楽や舞台芸術の魅力をお届けする事業の令和4年度第2回を開催した。

今回は令和5年2月開催の hitaru オペラプロジェクト「フィガロの結婚」関連事業として、歌とピアノの実演を交えながら作品の見どころ・聴きどころをわかりやすく解説した。



期 日：令和4年11月28日（月）開始19:00
 会 場：クリエイティブスタジオ
 主 催：札幌大谷大学
 共 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）
 出 演：千葉潤（札幌大谷大学学長・教授）
 針生美智子（札幌大谷大学音楽学科准教授）
 鎌倉亮太（札幌大谷大学音楽学科准教授）
 岡元敦司（札幌大谷大学非常勤講師）
 入場料：全席指定 2,000円
 入場者数：97人

4 交流事業

札幌文化芸術劇場 hitaru、クリエイティブスタジオ、札幌文化芸術交流センター SCARTS、札幌市図書・情報館など、さまざまなジャンルの事業展開が可能な札幌市民交流プラザの特性を活かし、多様な市民に参加・交流の場を提供して、多くの市民が文化芸術に触れることで施設のにぎわい創出につながる事業を実施した。

① PLAZA FESTIVAL 2022 プラザ映像祭

新規

クリエイティブスタジオの上映と音響環境をフル活用した充実の映像プログラムを実施した。初開催の今回は、大胆かつ繊細な大音響で映画を体感する上映作品、音楽の構造を映像で視覚化するVJライブ、映画をつくる上で欠かせない「劇伴」の魅力解説、北海道初公開の長編映画というラインナップに様々なゲストトークを交え、映像作品の奥深さに触れる内容で開催した。



期 日：令和4年10月7日(金)、8日(土)、9日(日)

10月7日(金)

①爆音上映「アメリカン・ユートピア」

開始19:00

10月8日(土)

②映像作家 大西景太の“音のかたち”

開始14:00 トークゲスト 大西景太、
電子オルガン演奏 吉村怜子

③音の映画 アノーチャ・スウィッチャー
ゴーンボン監督「暗くなるまでには」

開始16:00 トーク開始17:50

トークゲスト 樋口泰人

10月9日(日)

④爆音上映「スクール・オブ・ロック」

開始13:00

⑤映画をつくる劇伴音楽の力(「ワンダー
ウォール 劇場版」上映)

開始15:30 トーク開始16:40

トークゲスト 岩崎太整

会 場：クリエイティブスタジオ

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru (札幌市芸術文化財団)

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

助 成：ARTS for the future! 2

企画・制作：小野朋子

入場料：全席指定 ①500円 ②1,800円 ③1,000円
④500円 ⑤1,800円

入場者数：①158人 ②67人 ③49人 ④144人 ⑤55人

③ PLAZA FESTIVAL 2022 「MORIHICO.

Marché de GRENIER (マルシェ・ドゥ・
グルニエ) × プラザマルシェ」

新型コロナウイルスが依然猛威をふるう中、「人と人との繋がりが希薄になりつつあり、オンラインでも買ってしまう時代にこそ、作り手との交流を大事にしたい。」との思いから、作家と来場者との心の距離を少しでも近づけるべく、コーヒーブランド「MORIHICO.」がプロデュースするマルシェを開催した。



撮影：武石一俊

期 日：令和4年10月7日(金)～10月10日(月・祝)

11:00～19:00

※初日は12:00から、最終日は17:00まで

会 場：SCARTS モールA・B

主 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS (札幌市芸術文化財団)

プロデュース：MORIHICO.

出店者：CocoLi、trois...、BLUEPOND、

Mc. Profumo、DECOPACCHI、ふぁーむ

らんど shinwa、atelier koeda、MEDO、

ancoco、yuk no utar、my m、佐藤歩惟、

Hanke -Sandwich&Inn、pluie、HARUM、

MOMOKA、草木染め布ナプキン uka・uka、

靴磨き職人/足元デザイナー オカモトヒデ

ミ、mimori - 観森、クワイアンウクレレ、
MORIHICO.

入場料：無料

入場者数：600人

5 舞台技術向上への取組

舞台技術者の技術の向上や知識・経験の共有を図るため、舞台技術者を対象としたセミナーを開催した。

また、他の劇場や芸術団体と連携・協力し、地元の文化芸術の水準を高めるための取組として、舞台監督等の技術協力支援を行った。

①技術セミナー in hitaru 2022

市内の音響業者を対象に、ドイツの音響メーカー d&b 社の最新音響システム Soundscape の概要説明と、生ピアノと弦楽四重奏による生演奏試聴からなるセミナーを開催した。

期 日：令和4年12月6日（火）11:00～12:30

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

主 催：ケイズサウンド株式会社、
d&b audiotechnik Japan

共 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

参加者：70名

②「全国劇場・音楽堂等職員 舞台技術研修会」 第3回 hitaru 舞台技術セミナー

ーテーマ：見えないものを知るー

劇場・音楽堂等の舞台技術を統括管理するために必要な専門的知識や技術の習得を図る研修として文化庁及び公益社団法人全国公立文化施設協会が毎年開催している「全国劇場・音楽堂等職員 舞台技術研修会」と、市内道内の舞台技術者の技能向上や知識・経験の共有を目的に当劇場が毎年開催している「hitaru 舞台技術セミナー」を一体化して開催した。全国規模の技術研修会ということもあり、道内のみならず道外からも多くの参加者を集めた。



期 日：令和5年1月11日（水）、12日（木）

市民交流プラザ事業部

主催事業

1月11日（水）

- ①開講式 10:00～10:10
- ②プログラム1「ワイヤレスインカム・Wi-Fi 基礎とその仕組みを学ぶ」10:10～11:40
- ③プログラム2「ワイヤレスマイク（A帯、B帯）基礎とその仕組みを学ぶ」12:40～14:10
- ④プログラム3「携帯抑止装置（携帯電話）基礎とその仕組みを学ぶ」14:25～15:55
- ⑤プログラム4「システム説明・質疑応答及び12日の実験に向けて」16:10～17:00

1月12日（木）

- ⑥プログラム5「3社による合同の検証実験」10:00～12:00
- ⑦プログラム6「保守点検と改修工事『説明する』ということ」13:00～14:00
- ⑧プログラム7「関連法令 高所作業など」14:00～15:00
- ⑨閉講式 15:00～15:15
- ⑩施設見学会（自由参加）15:30～17:00

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

主 催：文化庁、公益社団法人全国公立文化施設協会

共 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

講 師：伊藤久幸（札幌文化芸術劇場 hitaru 舞台技術部長）

齋藤 玲（札幌文化芸術劇場 hitaru 舞台技術係長）

水村昭則（ベストックオーディオ株式会社）

井上直行（シュア・ジャパン株式会社）

滝川政志（株式会社テレ・ポーズ）

料 金：無料

参加者：100名（道内52名、道外48名）

③技術協力支援

高度な舞台機構や音響・照明設備を活用できる本劇場の舞台技術スタッフが他の劇場、音楽堂等及び実演芸術団体等と連携・協力し、地元の文化芸術の水準を高めるための取組として、舞台監督等の技術協力支援を行った。

（1）第62回 子ども舞踊祭

期 日：令和4年4月1日（金）

会 場：札幌市教育文化会館 大ホール

主 催：札幌洋舞連盟

（2）高橋竜太 ダンスワークショップ DAYs in Sapporo

期 日：令和4年5月4日（水・祝）、5日（木・祝）

会 場：札幌市教育文化会館 小ホール

主 催：札幌市教育文化会館（札幌市芸術文化財団）

（3）Dream of DancersVII 未来への夢

期 日：令和4年7月24日（日）

会 場：札幌市教育文化会館 大ホール

主 催：D&D実行委員会

（4）より子・バレエ・スタジオ 第15回発表会

期 日：令和4年10月16日（日）

会 場：札幌市生涯学習センター ちえりあホール

主 催：より子・バレエ・スタジオ

（5）カンマーフィルハーモニー札幌 名寄特別演奏会

「バレエと音楽のステキな関係」

期 日：令和4年12月4日（日）

会 場：名寄市民文化ホール EN-RAYホール

主 催：カンマーフィルハーモニー札幌

（6）Farewell 2022ピーターと狼

期 日：令和4年12月16日（金）～18日（日）

会 場：東一丁目劇場

主 催：We Love Ballet 実行委員会

（7）第5回 帯広市民バレエ 「眠れる森の美女」

期 日：令和5年1月22日（日）

会 場：帯広市民文化ホール 大ホール

主 催：帯広市民バレエ公演実行委員会

（8）第63回 子ども舞踊祭

期 日：令和5年3月28日（火）

会 場：札幌市民ホール

主 催：札幌洋舞連盟

札幌文化芸術交流センターに関する事業

1 文化芸術の普及・発信、にぎわい創出事業

誰もが気軽に文化芸術に触れられる場や機会を創出し、都心部のにぎわいを生み出す事業を展開した。

また、地元アーティストや文化芸術以外の他分野との連携による特徴的な事業により、地域の魅力を高めつつ、SCARTSの認知度向上に繋がった。

【SCARTSクリエイションプロジェクト (リサーチ)】 **新規**

SCARTSの施設特性や今日の社会状況等を踏まえた主幹事業を計画するため、全国のアートセンター等の文化施設や事業についてのリサーチを重ね、事業企画の検討を行った。

【SCARTSメディアアーツシリーズ】

メディアアートを軸に、メディアアーツ都市札幌の取り組みの充実に資するさまざまな事業を展開した。領域横断的な研究開発(R&D)によってこれからのメディアアートを支え、メディアアーツ都市の可能性を探求することを目指して、札幌で活動する専門性の高い機関との連携により各事業を実施した。

① ++A&T -SCARTS ART & TECHNOLOGY Project-(プラプラットフォーム)

アーティストや研究者とSCARTS、そしてワークショップに参加する札幌の中学生・高校生と協働し、共に創作する「場」をつくるプロジェクトとして、「テクノロジー」に関わるテーマを設定し実施した。

(1) ++A&T04 CoSTEP×SCARTS×札幌の高校生たち 「地球をかたづける」ワークショップ 成果展

北海道大学 CoSTEP との連携により実施。令和3年11月にアーティストの大和田俊を講師に招いて行ったワークショップのプロセスや参加者のアイデアとともに、講師と研究者の対話の記録などを展示し、大和田の作品《unearth》を起点に生まれた問いや関わった人それぞれの思考の広がりを紹介した。



撮影：百頭たけし

期 日：令和4年3月12日(土)～4月10日(日)
11:00～19:00

会 場：SCARTS モールC

主 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS (札幌市芸術文化財団)、北海道大学 大学院教育推進機構 オープンエデュケーションセンター 科学技術コミュニケーション教育研究部門 (CoSTEP)

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

入場料：無料

入場者数：860人(令和3年度400人/令和4年度460人)

<関連プログラム>

クロージングトーク

期 日：令和4年4月9日(土) 14:00～15:30

会 場：SCARTS モールC

登 壇：石井一英(北海道大学 大学院工学研究院 循環共生システム研究室 教授)、大和田俊(アーティスト)、百頭たけし(写真家)

司 会：樋泉綾子(札幌文化芸術交流センター SCARTS キュレーター)

参加者数：28人(内、オンライン視聴18人)

② Side Effects 2022-2024

「IEIE, Reflected: Phase1」

展示：IEIE クロニクル **新規**

現代音楽家のデーヴィッド・チュードアらが1970年半ばに構想した「孤島をまるごと楽器化する」という未完の計画《Island Eye Island Ear》の北海道での今日的な実現性を探求するS.I.D.E.プロジェクトの活動を紹介した。

島探しの舞台となった欧米に限らず、北海道・札幌でのリサーチで出会う人物や物事を、さまざまな視点で関連付けながら俯瞰する空間的年代記を展示した。

期 日：8月28日(日)～9月13日(火)

市民交流プラザ事業部

主催事業

11:00～19:00（展示）

会場：SCARTS モールC

主催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）、札幌国際芸術祭実行委員会、札幌市、北海道大学 大学院教育推進機構 オープンエデュケーションセンター 科学技術コミュニケーション教育研究部門（CoSTEP）

入場料：無料

入場者数：846人



撮影：門間友佑

<関連プログラム>

「IEIE, Reflected: Phase1」

公開実験：サウンドビーム



期 日：令和4年8月21日（日）9:00～15:00

会場：モエレ沼公園

協力：公益財団法人札幌市公園緑化協会

参加料：無料

参加者数：30人

③SCARTS×SIAF ラボ 冬の展覧会2023

「雪にまつわるエトセトラ」

札幌文化芸術交流センター SCARTSと札幌国際芸術祭（略称：SIAF）のもとで実験的な活動を行うSIAF ラボは、2018年より共同で、メディアアートを通じて冬の新たな魅力や創造性を発見しようとする継

続的な取り組みを行っている。

5回目となる本展では、札幌市で稼働する除雪車や雪堆積場のデータ、また吹雪という過酷な自然現象を題材として、体験・体感型のインスタレーションを展示。他にも、S.I.D.E.プロジェクトの活動記録や、NoMapsとのコラボレーションによる北国の企業の先進的な研究開発事例を紹介する展示を行った。

また、北海道大学 CoSTEP と連携する中高生向けのワークショップやライブパフォーマンスも同時に開催した。



撮影：門間友佑

期 日：令和5年2月4日（土）～2月14日（火）

11:00～19:00 休館日2月8日（水）

会場：SCARTS コート、SCARTS モールA・B・C

主催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）、札幌国際芸術祭実行委員会、札幌市、北海道大学 大学院教育推進機構 オープンエデュケーションセンター 科学技術コミュニケーション教育研究部門（CoSTEP）

協力：札幌市雪対策室、札幌市図書・情報館、No Maps 実行委員会、ゼロスペース株式会社

助成：令和4年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業

入場料：無料

入場者数：2,800人

<関連プログラム>

1. ギャラリーツアー

期 日：令和5年2月4日（土）15:00～15:40

会場：SCARTS モールA・B・C、SCARTS コート

参加料：無料

参加者数：30人

2. ピックアップブックス

期 日：令和5年1月26日（木）～2月21日（火）
（うち、2月8日（水）は休館日）
会 場：札幌市図書・情報館

④SCARTS×CoSTEP

アート&サイエンスワークショップ 「漂う環境」

北海道大学 CoSTEP との連携により、今日のアートと密接な関わりをもつサイエンスやテクノロジーを切り口に、メディアアートを含む多様な表現や創造的活動への関心を喚起することを目指し、次世代を担う若年層を対象に行うワークショップシリーズ。今回はアーティストの上村洋一を招き、フィールドレコーディングの体験を通して人と環境の関係性を再考するワークショップを実施した。

参加者は、アーティストと研究者によるレクチャー及び北海道大学構内のガイドツアーを経て、最新の機材によるフィールドレコーディングを体験し、自身の発見や思考を可視化するサウンドマップ制作に取り組んだ。また、ワークショップ最終日は、フィールドレコーディングを制作の手法とする3名のアーティストによるライブイベントを開催し、環境音を取り入れた演奏を鑑賞する機会を設けた。



撮影：クスマエリカ

期 日：令和5年2月11日（土）～12日（日）
10:00～16:00

会 場：SCARTS スタジオ

講 師：上村洋一（アーティスト）

ゲスト講師：HAM GEUN-YONG（北海道大学 大学院工学研究院 環境工学分野 循環共生システム研究室 助教授）、EzoLin-K

ファシリテーター：朴炫貞（アーティスト／北海道大学 CoSTEP 特任講師）

参加料：無料

参加者数：5人

<関連プログラム>

ライブパフォーマンス



撮影：門間友佑

期 日：令和5年2月12日（日）開演18:00

会 場：SCARTS コート展示会場内

出演者：上村洋一（アーティスト）、YOSI HORIKAWA（サウンド・クリエイター）、Kuniyuki Takahashi（サウンド・デザイナー／プロデューサー／DJ）

入場料：無料

入場者数：64人

【SCARTS 連携事業】

①Marché de GRENIER

（マルシェ・ドゥ・グルニエ）

元ボイラー工場をリノベーションした MORIHICO の4号店「Plantation」の屋根裏から始まった「マルシェ・ドゥ・グルニエ」。アクセサリやアンティーク、インテリア雑貨などを集めたマルシェを開催した。



撮影：武石俊一

期 日：①令和4年4月29日（金・祝）～5月4日（水・祝）

4月29日（金・祝）12:00～19:00、4月30日（土）～5月3日（火）11:00～19:00、5月5日（水）11:00～17:00

②令和4年7月29日（金）～31日（日）

7月29日（金）12:00～19:00、7月30日（土）

市民交流プラザ事業部

主催事業

11:00～19:00、7月31日（日）11:00～17:00

会場：SCARTS モールA・B

主催：MORIHICO.

共催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

出店者：①DECOPACCHI、HARUM、チーズ工房アドナイ、moreu、MOMOKA、CocoLi、工房はまなす、和田硝子器店、ancoco、かくれ家、Vintners、atelier koeda、Aobato、dotto.CANDLE、チェットベーカリーおもや、pluie、Finland selectshop vaasä、Hanke -Sandwich&Inn、Grand Vin Cellar、イコロの森、アリサの北海道お菓子店 chat、オカモトヒデミ、MORIHICO。
②木工挽物・家具クドウテット、Liaison / Liaison color、jobin.、シモオオゾノミホ、靴磨き職人／足元デザイナー オカモトヒデミ、Finland selectshop vaasä、pluie、ORITO、calme.、mimori-観森、またたび文庫、サッポロ・ミツバチ・プロジェクト、drop by、MORIHICO.

入場料：無料

入場者数：①600人 ②240人

②彫美連続講座2022（再掲） 73P参照

③大学連携コンサート

財団が連携協定を結ぶ2大学と連携し、同大学で学ぶ次世代を担う若手音楽家に発表の機会を提供し、札幌の音楽文化の発展に資することを目的にコンサートを実施した。

（1）大学連携コンサート 北海道教育大学岩見沢校 クラシックとジャズの出会い ーフランス編

ジャズ発祥の地であるニューオリンズに入植したフランスの作曲家を中心に、クラシックとジャズが会うことで生まれた個性豊かな楽曲を紹介するコンサートを開催した。ピアノ、クラリネット、ヴァイオリンがそれぞれの特徴を生かし、普段のクラシックとは一味違った軽快な演奏を披露した。



撮影：原田直樹

期日：令和4年8月17日（水）14:00開演

会場：SCARTS コート

主催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

出演者：河村真優（ピアノ）、鶴田奈々（ピアノ）、鈴木聖来（クラリネット）、安中綾梅（ヴァイオリン）

後援：札幌市

協力：北海道教育大学岩見沢校 芸術・スポーツ文化学科 音楽専攻

入場料：無料

入場者数：91人

（2）大学連携コンサート 札幌大谷大学 ヴァイオリンとヴィオラの響き ～時代と楽器を超える調べ～

時代を超え、オリジナルとは異なる、ヴァイオリンとヴィオラ、ピアノという珍しい楽器編成でのコンサートを開催した。楽曲の新たな魅力を引き出し、弦楽器の繊細さや迫力を存分に表現した演奏となった。



撮影：原田直樹

期日：令和5年1月5日（木）14:00開演

会場：SCARTS コート

主催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

出演者：徳田和可（ヴァイオリン）、壹岐香風（ヴィ

オラ)、永井花帆(ピアノ)

後援：札幌市

協力：札幌大谷大学 芸術学部 音楽学科

入場料：無料

入場者数：110人

④第51回 SAPPORO ぶんだんきょう フェスティバル

札幌市の芸術・文化の振興を目的に、札幌文化団体協議会との共催により札幌で活動する作家の絵画や書、造形作品など多彩なジャンルの作品を展示した。また同時に、一般公募の子供たちや全道の特別支援学校・学級(小・中学校)からの応募作品を展示する「こどもアール・ブリュット北海道みらい作品展」を開催した。

期 日：令和4年8月19日(金)～21日(日)

会 場：SCARTS コート、SCARTS スタジオ、
SCARTS モール A・B・C

主 催：札幌文化団体協議会

共 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS (札幌市芸術文化財団)

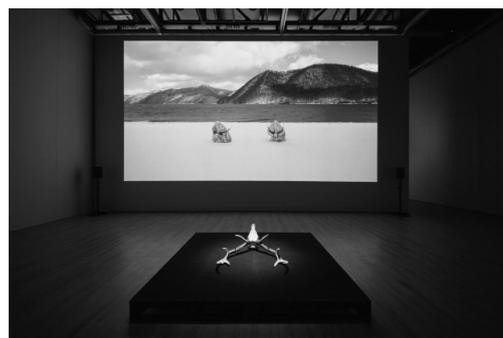
入場料：無料

入場者数：3,145人



⑤さっぽろ天神山アートスタジオ 国際公募 AIR プログラム2022-2023 展覧会「雪のうえにのびる道」 The roads stretch on the snow」

さっぽろ天神山アートスタジオは、国内外のアーティスト等が滞在しながら創作活動を行うアーティスト・イン・レジデンス(AIR)拠点である。同スタジオで、海外と日本のアーティストによるアート・コレクティブを対象とした国際公募で選ばれた2組が約50日間にわたる滞在制作を行い、それぞれのコレクティブがAIRでのインスピレーションと思考を形にした作品をSCARTSテクニカルチームとの協働で展示した。



撮影：小牧寿里

期 日：令和5年1月10日(火)～22日(日)
11:00～20:00

会 場：SCARTS コート

出展者：Vindur (アラナ・グレゴリー、升谷絵里香)、
Alexandre Kato+Soshi Matsunobe (アレクサンドル・カトー、松延総司)

主 催：札幌市、さっぽろ天神山アートスタジオ／一般社団法人 AIS プランニング、札幌文化芸術交流センター SCARTS (札幌市芸術文化財団)

支 援：文化庁(令和4年度アーティスト・イン・レジデンス活動支援を通じた国際文化交流促進事業)

協 力：RESULT

入場料：無料

入場者数：694人

<関連プログラム>

ギャラリートーク&パフォーマンス

期 日：令和5年1月10日(火) 19:00～19:45

会 場：SCARTS コート

出展者：Alexandre Kato + Soshi Matsunobe (ギャラリートーク)、Vindur (パフォーマンス)

参加料：無料

参加者数：39人

⑥さっぽろアートステージ2022 ART STREET 「キッズアートフェス」

札幌市内各所でさまざまな"アートの入口"をひらく秋の恒例イベント「さっぽろアートステージ」のプログラムとして、アーティストによる子ども向けのワークショップを行い、その成果を展示する「キッズアートフェス」を開催。デジタルアートを通して育む子どもたちの創造性をテーマとして、コロナ禍での少人数制のワークショップや、Zoomによるオンラインワー

市民交流プラザ事業部

主催事業

クショップ、さらに事前の作品募集など、5組のアーティストが子どもたちと一緒に制作したさまざまな作品を楽しめる展覧会となった。



画像提供：さっぽろアートステージ実行委員会

期 日：令和4年11月7日（月）～23日（水）
10:00～19:00（23日のみ10:00～17:00）
休館日2月8日（水）
会 場：SCARTSコート、SCARTSモールA・B
主 催：さっぽろアートステージ実行委員会
作 家：石田勝也、佐藤壮馬、祭太郎、吉岡純希、
row&row（アーティストユニット／Boat
ZHANG+小林耕二郎）、ワークショップに
参加した子どもたち
入場料：無料
入場者数：1,889人（コート904人、モールA・B 985人）

<関連プログラム>

1. 祭太郎と一緒に大きなオブジェを作ろう！

期 日：令和4年9月12日（月）～10月25日（火）
（作品募集期間）
令和4年11月5日（土）、6日（日）、13日
（日）、16日（水）（口上パフォーマンス）
会 場：SCARTSモールA・B
作 家：祭太郎
参加者数：450人

2. カラフルな雪をふらせよう！はじめての デジタルアートワークショップ

期 日：令和4年10月15日（土）
会 場：オンライン
講 師：吉岡純希
参加者数：12人

3. 見えない風の絵を描き、それを映像にし てみよう！

期 日：令和4年10月29日（土）（オンライン）、
11月5日（土）（対面）
会 場：SCARTSコート、オンライン
講 師：石田勝也
参加者数：16人

4. 暖かい炎をイメージしたアニメーション を作ろう！

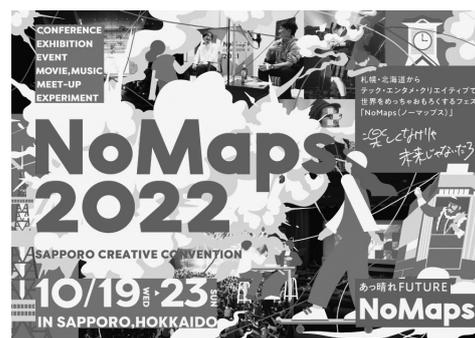
期 日：令和4年11月5日（土）～11月6日（日）
会 場：SCARTSコート
講 師：row&row
参加者数：16人

5. 自分の顔を3D彫刻にしてみよう！

期 日：令和4年11月5日（土）～11月6日（日）
会 場：SCARTSコート
講 師：佐藤壮馬
参加者数：18人

⑦NoMaps2022

札幌・北海道を舞台に、クリエイティブな発想と技術によって次の社会・未来を創ろうとする人たちのためのコンベンションを開催。カンファレンスや展示、イベント、交流、実証実験など、企業と市民をつなげる多様なプログラムを行った。



期 日：令和4年10月19日（水）～23日（日）
会 場：SCARTSコート、SCARTSスタジオ、
SCARTSモールA・B・C
主 催：NoMaps実行委員会
連 携：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌
市芸術文化財団）
参加料：無料
参加者数：980人

札幌文化芸術交流センターに関する事業
1 文化芸術の普及・発信、にぎわい創出事業

⑧第4回アートボランティアウィーク2022
@SCARTS

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

期 日：令和4年10月27日（木）～30日（日）

会 場：SCARTS コート、SCARTS モールA・B

主 催：さっぽろアートボランティアネットワーク
(V-net)

共 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌
市芸術文化財団）

入場料：無料

入場者数：—

⑨版画工房開館30周年関連事業

版画一いま・これから（再掲） 53P 参照

【SCARTS パブリックリレーションズ】

①あらためまして、SCARTS です

ドキュメント展 2018-2021

新規

SCARTS が設立された経緯やこれまでの活動、SCARTS スタッフの仕事について紹介するドキュメント展。公園のような開放的で親しみのある空間に設置した「SCARTS でどんなことが起きたら楽しい？」と問う参加型のパネルには、来場者からたくさんのアイデアが寄せられた。



撮影：リョウイチ・カワジリ

期 日：令和4年10月7日（金）～10月10日（月・祝）

会 場：SCARTS コート

主 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌
市芸術文化財団）

入場料：無料

入場者数：416人

②PLAZA FESTIVAL 2022

札幌芸術の森クラフトキャラバン

ワークショップ「街、森、クラフト」（再掲）

52P 参照

③PLAZA FESTIVAL 2022 「MORIHICO.
Marché de GRENIER（マルシェ・ドゥ・
グルニエ）×プラザマルシェ」（再掲）

150P 参照

④西2丁目地下歩道映像制作プロジェクト

さっぽろ地下街オーロラタウンと札幌市民交流プラザをつなぐ"西2丁目地下歩道"をスクリーンにした映像制作プロジェクト。令和4年度からは、小田香の《Underground》を加えた5作品の上映を行った。



撮影：Kenzo Kosuge

期 日：令和4年4月1日（金）～

会 場：西2丁目地下歩道

主 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌
市芸術文化財団）

作 家：小田香（フィルムメーカー／アーティスト）

入場料：無料

上映作品：スタジオロッカ 《UNDER UNIVERSE》
(2019)

大木裕之《トシ シ》(2020)

野口里佳《虫・木の葉・鳥の声》(2020)

アピチャップン・ウィーラセタクン《憧れの
地 (The Longing Field)》(2021)

小田香《Underground》(2022)

⑤SCARTS アニュアルレポート

SCARTS の活動を記録し、広く公開することで、SCARTS の活動を周知することを目的に、令和3年度の活動記録集をPDF形式で制作した。

市民交流プラザ事業部

主催事業

2 文化芸術活動支援事業・ 文化芸術に関する調査研究事業

市民やアーティスト等の文化芸術活動の活性化やキャリアアップなどを目的に、情報収集・発信できる場の提供や、文化芸術に関する悩みなどの相談も受け付けた。

また、文化芸術に関わる方々を対象とした講座の開催や、アートと人々をつなぐボランティアな活動を支援するなどして、札幌で文化芸術活動が行いやすくなるような取り組みを行った。

【SCARTS サポート事業】

インフォメーションカウンターや相談サービス、オンラインでの情報発信、貸館サポート、ラーニングプログラム、企画公募事業など、文化芸術活動を支えるさまざまな事業を実施した。また、国や他都市の動向や先進的な文化芸術活動などに関する基礎的な調査や研究を行った。

① SCARTS 相談サービス

アーティストや文化芸術団体を支援し、市内の文化芸術活動の活性化や質の向上に資することを目的に、事前予約制で、アーティストや文化団体からの問い合わせ（活動場所、広報手段、助成金等）に対する情報提供やアドバイスを行った。

利用件数：53件

② SCARTS ラーニングプログラム

市民と共に学ぶさまざまな場を創出することを目的に、オープンミーティングやトークイベントを実施した。

(1) 西2丁目地下歩道映像制作プロジェクト 小田香作品《Underground》 スクリーン上映&トーク **新規**

西2丁目地下歩道映像制作プロジェクト委嘱作品の完成を記念し、特別な大型スクリーンでの新作上映を行い、小田香監督と制作メンバーが札幌での撮影や制作プロセス、過去の作品について振り返るトークを行った。

期 日：令和4年6月11日（土）14:00～15:00

会 場：SCARTS コート

主 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

出演者：小田香（フィルムメーカー／アーティスト）、

長崎隼人（プリプロダクションマネージャー）、
杉原永純（プロデューサー／キュレーター）、
岩田拓朗（SCARTSテクニカルディレクター）

参加料：無料

参加者数：88人（内、オンライン視聴者20人）



(2) あらためまして、SCARTS です オープンミーティング **新規**

札幌のアートセンターである SCARTS がどんなところなのかを参加者とともに考えることを目的に、これまで SCARTS が行ってきたこと、今 SCARTS が取り組んでいること、そしてこれからの SCARTS のあり方について、SCARTS スタッフが道外・市内のゲストとともに意見交換するためのオープンミーティングを開催した。



撮影：リョウイチ・カワジリ

期 日：令和4年10月10日（月・祝）14:00～16:00

会 場：SCARTS コート

主 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

登壇者：カジタシノブ（インタークロス・クリエイティブ・センター ディレクター）、川上りえ（美術家）、宮井和美（モエレ沼公園学芸員）、吉本光宏（株式会社ニッセイ基礎研究所研究理事・芸術文化プロジェクト室長）、樋泉綾子（SCARTS キュレーター）、松本桜子（SCARTS 文化芸術活動サポート担当）、山

2 文化芸術活動支援事業・文化芸術に関する調査研究事業

田大揮（SCARTS テクニカル担当）

モデレーター：木ノ下智恵子（SCARTS 事業統括ディレクター／大阪大学21世紀懐徳堂准教授）

参加料：無料

参加者数：44人

（3）さっぽろ天神山アートスタジオ
北海道 AIR ミーティング
「アーティストの滞在制作の現場
AIR in Hokkaido」 **新規**

さっぽろ天神山アートスタジオは、コロナ禍で道外との往来が難しくなった2020年から、リサーチや制作活動のために滞在するアーティストをサポートする団体や個人とのネットワークを構築する活動に取り組んでおり、今回は旭川市、岩見沢市、斜里町、月形町、当別町、豊頃町、夕張市で活動する人々による活動紹介や情報交換を行った。



期 日：令和5年1月22日（日）14:00～16:00

会 場：SCARTS スタジオ

主 催：札幌市、さっぽろ天神山アートスタジオ / 一般社団法人 AIS プランニング、札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

支 援：文化庁（令和4年度アーティスト・イン・レジデンス活動支援を通じた国際文化交流促進事業）

話し手：ヒミツキチこひつじ（斜里町）、アトラボ北舟（豊頃町）、旭川市在住有志（オンライン）、当別アーティスト・イン・レジデンス（当別町）、みる・とーぶ（岩見沢市）、清水沢プロジェクト（夕張市）、ツキガタアートヴィレッジ（月形町）、アーティスト・イン・レジデンスあさひかわ（旭川市）

モデレーター：小田井真美（さっぽろ天神山アートスタジオ AIR ディレクター）

参加料：無料

参加者数：話し手14名、聴講者19名

③公募企画事業

札幌の文化芸術活動を支え、創造的で活気あふれるまちづくりに寄与することを目指し、SCARTSが会場を提供して行う事業の企画を市民から広く募るとともに、前年度採択した2事業を実施した。事業の実施にあたっては、SCARTSが技術面・運営面でのサポートを行った。

（1）SCARTS 企画公募2023

令和5年度に実施する事業の企画を公募した。

期 日：令和4年9月15日（木）～10月15日（土）

応募件数：56件

採択件数：4件

（2）令和3年度採択事業：あたらしい民話 presents さっぽろの民話

札幌に住むさまざまな人にインタビューを行い、集めたエピソードを「民話」として言語化していくプロジェクト「あたらしい民話」の展覧会。テキストや朗読音声、映像などの作品を通して「あたらしい民話」を体験できる展示のほか、札幌で活躍する俳優や音楽家を日替わりでゲストに招いた民話の読み語りライブや、民話をつくるワークショップ、オリジナルグッズの販売も行った。



撮影：山岸靖司

期 日：令和5年2月18日（土）～2月26日（日）
10:00～21:00

会 場：SCARTS スタジオ

主 催：あたらしい民話事務局、札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

助 成：Sapporo Art Index（令和4年度 札幌文化芸術創造活動支援事業）

協 力：ICC（インタークロス・クリエイティブ・センター）、一般社団法人 AIS プランニング

アドバイザー：カジタシノブ

市民交流プラザ事業部

主催事業

入場料：無料
入場者数：514人

<関連プログラム>

1. さっぽろのあたらしい民話をつくろう ワークショップ SCARTS 編

期 日：令和5年2月19日（日）、23日（木・祝）、25日（土）、26日（日）
10:00～12:00（23日のみ16:00～18:00）

会 場：SCARTS スタジオ

参加料：500円

参加者数：5人

2. さっぽろの民話 読み語りライブ

期 日：令和5年2月18日（土）～21日（火）、
23日（木・祝）～26日（日）
19:30～20:00（23日のみ10:00～10:30）

会 場：SCARTS スタジオ

入場料：1,000円

(1) 期 日：2月18日（土）

話し手：石橋玲

音 楽：留美 (F.H.C) / ギター・その他

入場者数：13人

(2) 期 日：2月19日（日）

話し手：内崎帆乃香 (ELEVEN NINES)

音 楽：横山祐太 / トランペット

入場者数：5人

(3) 期 日：2月20日（月）

話し手：トマト (劇団風蝕異人街)

音 楽：手島慶子 / パーカッション

入場者数：16人

(4) 期 日：2月21日（火）

話し手：飛世早哉香 (in the Box / OrgofA)

音 楽：嵯峨治彦 / 馬頭琴

入場者数：11人

(5) 期 日：2月23日（木・祝）

話し手：立川佳吾 (トランク機械シアター)

音 楽：コニシダイスケ (ししし) / 民族楽器

入場者数：14人

(6) 期 日：2月24日（金）

話し手：棚田満 (劇団怪獣無法地帯)

音 楽：小野健悟 / サックス

入場者数：16人

(7) 期 日：2月25日（土）

話し手：ナガムツ

音 楽：新藤理 (フリースクール札幌自由が丘
学園) / 鍵盤ハーモニカ

入場者数：17人

(8) 期 日：2月26日（日）

話し手：柴田智之 (Atelier 柴田山)

音 楽：鼓代弥生 / 波紋音

入場者数：22人

(3) 令和3年度採択事業：North PRINT —北海道の現代版画—

近年、多様化した美術表現の中において進化し続ける版画芸術の認知向上と文化的復興を図り、作品発表の場を札幌で作り育てることを目的に、北海道にゆかりのある現代版画作家8人による作品展を開催した。



撮影：山岸靖司

期 日：令和5年3月8日（水）～3月16日（木）
11:00～19:00（16日のみ11:00～16:00）

会 場：SCARTS コート、SCARTS モール A・B

出演者：風間雄飛、佐藤文音、富田美穂、鳴海伸一、
平野有花、松浦進、箕輪千絵子、吉田潤

主 催：NorthPRINT 実行委員会、札幌文化芸術交
流センター SCARTS (札幌市芸術文化財団)

協 力：大丸藤井セントラル、大野愛莉純

入場料：無料

入場者数：3,564人

<関連プログラム>

1. ワークショップ「銅版画メゾチント体験」

期 日：令和5年3月12日（日）13:00～16:00

会 場：SCARTS スタジオ

参加料：3,000円

参加者数：13人

2 文化芸術活動支援事業・文化芸術に関する調査研究事業

2. ワークショップ

「シルクスクリーンで巾着プリント」

期 日：令和5年3月12日（日）11:00～15:00

会 場：SCARTS スタジオ

参加料：1,000円

参加者数：14人

④札幌文化芸術交流センター SCARTS
文化芸術振興助成金交付事業

札幌市の文化芸術振興に賛同する方々からいただいた寄付を基に創設された「文化芸術振興基金」の運用益を活用し、札幌市を拠点に文化芸術活動を行う団体又は個人による、優れた活動に対してその費用の一部を助成し、札幌市における文化芸術振興やさらなる発展につなげることを目的として実施した。

新たな創造活動の可能性を切り拓く、独創性及び革新性に優れた文化芸術活動などを対象とした「特別助成事業」と、地域における実演芸術の発表や展覧会など多様な文化芸術活動などを対象とした「一般助成事業」の2つの区分で募集を行い、申請があった事業の審査から採択までを実施した。

期 日：令和4年12月1日（木）～

令和5年1月10日（火）（申請書受付）

申請件数：特別助成事業17件、一般助成事業50件

採択件数：特別助成事業2件、一般助成事業14件（うち2件取下げ）

（1）令和4年度 助成対象事業

1. 特別助成事業

- ・祈りの北方圏～サンドアート・ダンス・音楽～（北方諸民族文化交流実行委員会）
- ・なえぼなーと／NAEBONART 2022（特定非営利活動法人S-AIR）

2. 一般助成事業

- ・HDP DANCE PREMIUM 2022（一般社団法人北海道ダンスプロジェクト）
- ・クリスマスのふしぎなほこ（根深夏）
- ・札幌学生対校演劇祭（札幌学生対校演劇祭実行委員会）
- ・札幌の木、北海道の椅子展'21-'22（Sapporo Association of Woodworkers（SAW））
- ・SAPPORO 風呂敷フェスティバル・風呂敷講演会&風呂敷講座（一般社団法人日本風呂敷文化協会）
- ・札幌洋舞連盟 第62回子ども舞踊祭（札幌洋舞連盟）
- ・第43回市民バンドフェスティバル in Sapporo（札幌市民バンド連絡協議会）

札幌市民バンド連絡協議会）

- ・聖と俗の音の旅Ⅲ Rosa das Rosas（中村会子）
- ・トランク機械シアター人形劇詰め合わせ（トランク機械シアター）
- ・羽ばたけ！北海道イラスト大賞展（北海道イラストレーターズクラブアルファ）
- ・びょういんあーとぶろじえくと（びょういんあーとぶろじえくと）
- ・ラボチプロデュース のと☆えれき二人芝居第三弾（ラボチ）

（2）令和5年度 募集説明会

新規

令和5年度の助成対象活動募集に向けて、助成金交付事業の概要や昨年度からの変更点などを解説する募集説明会を実施した。

期 日：令和4年11月26日（土）14:00～15:00、

11月27日（日）10:00～11:00

会 場：控室401

主 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

参加料：無料

参加者数：20人

（3）令和4年度 活動報告会

新規

札幌市の文化芸術活動の振興や更なる発展を目指し、本助成事業に採択された活動の成果を広く市民に公開する活動報告会を実施した。



期 日：令和5年3月26日（日）14:00～17:30

会 場：SCART コート

主 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

参加料：無料

参加者数：37人

市民交流プラザ事業部

主催事業

⑤アートコミュニケーション事業

札幌市民交流プラザを拠点に、アーティストや文化芸術に関わる専門家、SCARTSのスタッフとともに「市民とアートのつなぎ手」としてボランティアな活動を展開するSCARTSアートコミュニケーターに対する講座を実施するとともに、彼らの自主的な活動へのサポートを行った。

(1) 講座

1. あらためまして、こんにちは！

期 日：令和4年5月21日（土）10:00～15:00

会 場：SCARTS スタジオ

講 師：納谷真大（ELEVEN NINES／劇作家・俳優）

参加者数：17人

2. 「アイデアの種」の探し方と育て方

期 日：令和4年6月18日（土）10:00～15:00

会 場：SCARTS スタジオ

講 師：伊藤達矢（東京藝術大学 社会連携センター
特任教授）

参加者数：15人

3. 「伝わる」編集法 [概要編]

期 日：令和4年6月25日（土）10:00～15:00

会 場：SCARTS スタジオ

講 師：来嶋路子（ミチクル編集工房）

参加者数：10人

4. 鑑賞ツアーの実践に向けて

～まちなかのアートワークについて知る

期 日：令和4年7月16日（土）10:00～15:00

会 場：SCARTS スタジオ

講 師：樋泉綾子（札幌文化芸術交流センター
SCARTS キュレーター）

参加者数：10人

5. 鑑賞ツアーの実践に向けて

～「対話による鑑賞」を深める

期 日：令和4年7月30日（土）10:00～15:00

会 場：SCARTS スタジオ

講 師：山崎正明

参加者数：11人

6. ひらく会議①

期 日：令和4年8月13日（土）10:00～15:00

会 場：控室402

参加者数：4人

7. 他者の世界をのぞく

～インタビューの作り方 [概要編]

期 日：令和4年8月27日（土）10:00～15:00

会 場：控室402

講 師：福住廉（美術評論家／秋田公立美術大学大学
院 准教授）

参加者数：10人

8. ひらく会議②

期 日：令和4年9月17日（土）10:00～15:00

会 場：中練習室1

参加者数：4人

9. 鑑賞ツアーリハーサル

期 日：令和4年9月24日（土）10:00～15:00

会 場：ミーティングルーム2、さっぽろ創世スクエア

講 師：山崎正明

参加者数：7人

10. 「伝わる」編集法 [実践編]

期 日：令和4年10月29日（土）10:00～15:00

会 場：中練習室1

講 師：来嶋路子（ミチクル編集工房）

参加者数：9人

11. ひらく会議③

期 日：令和4年11月12日（土）10:00～12:00

会 場：中練習室1

参加者数：6人

12. 他者の世界をのぞく

～インタビューの作り方 [実践編]

期 日：令和4年11月19日（土）10:00～15:00

会 場：SCARTS スタジオ1

講 師：福住廉（美術評論家／秋田公立美術大学大学
院 准教授）

参加者数：6人

13. ひらく会議④

期 日：令和4年12月17日（土）10:00～12:00

会 場：控室403

参加者数：7人

14. アートコミュニケーター2・3期生卒業式

期 日：令和5年3月4日（土）14:00～16:00

会 場：SCARTS コート

参加者数：20人

（2）実践活動



1. アーティストへのインタビュー

期 日：令和4年9月17日（土）14:00～18:00

会 場：センター事業課会議室

取材対象者：国松希根太、谷口顕一郎、渡邊希

参加者数：6人

2. アートコミュニケーター「ひらく」と 巡る常設アート鑑賞ツアー

期 日：令和4年10月8日（土）

①11:00～12:00 ②15:00～16:00

会 場：さっぽろ創世スクエア

講 師：山崎正明

参加者数：①8人 ②18人

3. アートコミュニケーター自主企画 「バックステージツアー」

期 日：令和4年11月19日（土）15:30～17:00

12月1日（木）13:00～14:30

令和5年3月11日（土）14:30～15:30

会 場：SCARTS スタッフルーム、札幌文化芸術劇場 hitaru、札幌市図書・情報館

参加者数：6人

4. 鑑賞レポート

SCARTS アートコミュニケーターがそれぞれに鑑賞した展覧会やコンサート、映画、演劇などについてレポートを執筆し、ウェブ上の「鑑賞レポート」で公開した。

期 日：通年

（3）人とアートをつなぐ

SCARTS アートコミュニケーター 「ひらく」をふりかえる展

2018年に結成して以来、チームで活動を続けてきたSCARTS アートコミュニケーター「ひらく」の2期生及び3期生が3月で卒業するにあたり、これまでの活動を紹介するとともに、「ひらく」が企画したワークショップや、活動に関わりの深いゲストを招いたトークイベントを開催した。



期 日：令和5年1月12日（木）～1月16日（月）

11:00～19:00

会 場：SCARTS スタジオ

参加者数：274人

市民交流プラザ事業部

主催事業

<関連プログラム>

1. 鑑賞ワークショップ

「コトバで紡ぐ音楽」

期 日：令和5年1月14日（土）13:00～15:00

会 場：SCARTS スタジオ

参加者数：7人

2. ひらく映画部の「ゆるゆる映画トーク会」

期 日：令和5年1月14日（土）17:00～18:00

会 場：SCARTS スタジオ

参加者数：16人

3. 鑑賞ワークショップ

「みる・かんがえる・はなす・きく」

期 日：令和4年1月15日（日）11:00～12:30

会 場：SCARTS モールC

参加者数：18人

4. ふりかえりトーク

「ひらくさんいらっしゃい」

期 日：令和5年1月15日（日）14:00～16:00

会 場：SCARTS スタジオ

話し手：現役ひらくメンバー【2期生】大澤香織・平原千景・齋藤幸司、【3期生】江野清美・鈴木ひな・田原実遊、伊藤達矢（東京藝術大学社会連携センター 特任教授）、山際愛（ひらく1期生／札幌アートコミュニケーターズ）、樋泉綾子（札幌文化芸術交流センター SCARTS キュレーター）

参加者数：25人

広報・利用促進に関する事業

1 広報

①事業広報との連携強化

公演・イベントの周知、チケット販売促進や、施設入館者数の目標達成を目指し、情報誌等の印刷物やホームページ、SNS等の多様な媒体を活用して、札幌市民交流プラザの機能や事業の広報を積極的に行った。

（1）地下鉄パンフレット広告

主要駅の地下鉄フリーパンフレットコーナーにて、スケジュール誌「PLAS」を配架した。

（2）協賛広告枠の活用

札幌文化芸術劇場 hitaru オフィシャルスポンサー企業の広告協賛等を活用し、地下鉄大通駅コンコース及び地下街オーロラタウン、丘珠空港、市内大型スーパーマーケット、路線バス車内等において動画の放映やポスター広告の掲示等を行った。

②広報物の制作

（1）情報誌「WAVE TIMES」

札幌市民交流プラザの情報誌「WAVE TIMES」を4回（5月、8月、11月、2月）発行し、区役所等の市内公共施設や関係団体へ送付したほか、公演・イベント会場等でも広く配布した。

（2）イベントスケジュール冊子「PLAS」

札幌市民交流プラザを構成する3施設の公演・イベントを掲載するスケジュール冊子「PLAS」を6回（5月、7月、9月、11月、1月、3月の各月20日頃）発行し、区役所等の市内公共施設や関係団体へ配布した。

（3）「創成おさんぼMAP」

近隣地域のにぎわいを醸成するため、メンバーズ会員向け特典提供店を紹介する地図形式の冊子をB3判ジャバラ折B6仕上げで作成し、メンバーズ（DM会員）に送付したほか、協力店舗やプラザ館内各所で配架した。また、利用促進のため、SNSを活用した「#おさんぼMAPキャンペーン」を実施した。

（4）アクセス動画

市民交流プラザの認知度、並びにアクセスについての情報を広く周知するため、15秒の広告動画を制作し

た。制作した動画はさっぽろ地下街の「AUMIRU ビジョン」「HILOSHI ビジョン」の2カ所で上映した。

③ホームページ・SNSの活用

ホームページを通じて、主催事業や貸館公演などのイベント情報を随時発信し、広く札幌市民交流プラザの周知を図るとともに、英語ページも作成し、外国人向けに情報発信を行った。ウェブアクセシビリティへの対応にも留意し、JISX8341-3:2016の適合レベルAA準拠を維持した。

また、Twitter、Facebook、InstagramといったSNSも活用し、即時性のある情報を発信。

令和4年度公式ホームページアクセス数：1,476,048件

令和4年度札幌市民交流プラザメンバーズホームページアクセス数：159,290件

2 利用促進

①施設利用に関する営業

劇場及びセンター諸室の貸館利用促進に向け、地元興行主との情報交換を密にするほか、「ご存じですか？プラザの貸室いろいろ」を配布して会議や練習での利用を促した。

②会員制度の運営

主催公演のチケット先行発売や公演情報の提供などを特典とする会員制度「札幌市民交流プラザメンバーズ」を運営し、令和5年3月末までにWEB会員42,690人、DM会員691人、計43,381人の会員を集めた。

会員向けサービスとしては、以下のものを実施した。

- ・メールマガジン配信（WEB会員向け。原則1ヶ月に2回）
- ・ダイレクトメール送付（DM会員向け。原則奇数月）
- ・hitaru主催公演のチケット先行発売
- ・プラザ内カフェ・レストランでの優待
- ・近隣のホテル・飲食店等での各種優待
- ・避難訓練コンサートの実施

③協賛制度の運営

札幌文化芸術劇場 hitaru の主催共催事業の充実を目的とする「hitaru オフィシャルスポンサー」制度を運営。令和5年1月にはスポンサーを対象とした交流会を実施した。

2022年度のスポンサーとして、法人106社、個人53人、計159件（8,860万円及び広告枠）の協賛を獲得した。

